

東北大学医学部保健学科 同窓会新聞

新同窓会会長のご挨拶

今年度から前任の菅原明先生に代わり、大森純子先生が東北大学医学部保健学科同窓会会長に就任されました。ご挨拶を頂戴しましたのでご紹介いたします。

公衆衛生看護学分野 教授
大森 純子先生



同窓生の皆様には、国内外の各地でご活躍のことと存じます。2014年の同窓会新聞では新任教員としてご挨拶させていただきましたが、今回は保健学科長としてご挨拶を申し上げます。公衆衛生看護学分野の大森です。どうぞよろしくお願いたします。

この4月から、医学部・保健学科という単位で考える立場となり、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、それぞれの4年間のカリキュラムや講義・演習・実習・研究、学生生活の4年間、卒業後の就職や進学等について、もっと詳しく知りたいと思うようになりました。

発行人 大森純子
発行所 東北大学医学部保健学科
仙台市青葉区星陵2の1
編集人 東北大学医学部保健学科
同窓会新聞編集委員会
編集委員 西山真美、遠藤美芽、
武石陽子

7月の同窓会総会や講演会の企画立案にもかかわらずいただき、同窓生の皆様の現在のことも知りたいと思うようになりました。昨年(2019年)の11月には、保健学科設立15周年・保健学専攻設立10周年の祝賀会が催されました。東北大学医学部保健学科は2003年10月に設置されたこと、優秀な人材を輩出してきたこと、東日本大震災を機にリサーチマインドがより強化されてきたことを、当日参加された同窓生の方々とともに振り返り、未来について考える節目となりました。

新任の先生のご挨拶

今年度に入り、新たに2名の先生が本学科に就任されました。ご挨拶を頂戴しましたので、ご紹介いたします。

ウイメンズヘルス・周産期看護学
准教授 吉田 美香子先生



保健学は、ヒューマンサイエンスの要素が多く含まれます。ヒトが人と人との間で時を経て様々な活動を通じて人間として成熟していくように、保健学科も思春期から青年期に入り、これからが成熟する上で重要な時期であるように感じます。同窓生の皆様には、ぜひ現場で培った経験や実践の知を



本年4月にウイメンズヘルス・周産期看護学に着任しました吉田と申します。私は2001年に広島大学を卒業後、助産師として臨床経験を積んだのち、東京大学で学位を取得しました。その後は、東京大学で7年間主に研究に従事しました。

大学院時代から一貫して骨盤底障害を専門にしており、大学院時代は妊娠・分娩の切り口から、助

医用画像工学分野 助教
市地 慶先生



教・講師時代は前立腺がんをテーマに骨盤底障害を扱っています。「現場に還元できる研究」をモットーに、患者さんの苦痛を取れる技術、看護師などメディカルスタッフの自信ややりがいにつながる技術として超音波画像を用いた観察技術の開発をし、東大病院で骨盤底リハビリテーション外来を立ち上げ、理学療法士などの多職種と一緒に実践を行いながら研究に没頭する日々を送りました。東北大学では、たくさんの学生に囲まれて、次世代の人材を育てていく責任感を感じるとともにやる気が湧いてきて、着任したその日から充実した毎日を送っています。穏やかながらもきびきびした雰囲気の中で心を新たに、これまでの経験も活かして、看護学と本学科の発展に貢献していきたいと考えています。これから末永くどうぞよろしくお願申し上げます。

平成31年2月より、医用画像工学分野に助教として着任いたしました市地慶と申します。都内の工業高等専門学校(みなさまにはなじみが薄いかと思われませんが高校3年間と学部2年分のような5年制の高等教育機関です)を卒業後、同専攻科を経て、東北大学大

学院工学研究科に進学し、以来、仙台で過ごしております。博士課程修了後には、片平キャンパスにある電気通信研究所、そしてこの星陵キャンパス・医学系研究科に所属のポストドクとして所属させていただきましたのち、前職では、ふたたび青葉山の工学研究科で助教として勤めておりました。

大学院進学以降、X線動画画像中の腫瘍の検出・追跡・位置予測といった放射線治療・診断に関わる技術開発をテーマに研究を続けてまいりました。そのため、着任前より保健学科や大学病院の皆様からご指導・ご協力をいただいております。高校も大学も経ていない工学系出身ということもあって、医療従事者にとつての常識や、医療専門職養成における心構えなど足りないところを痛感する日々ではあります。これまでに培った知識・経験を活かし、少し違った視点・視野から、保健学科における研究・教育に寄与・貢献できればと考えております。また、保健学科での研究・教育活動を通じて、工学部にいるだけでは得られない知識・経験を学生の皆さんと共に勉強させていただければ幸いです。これからどうぞよろしくお願いたします。

2019年度 医学部オープンキャンパス

2019年7月30日(火)、31日(水)の2日間にわたって東北大学オープンキャンパスが開催されました。今年も星陵キャンパスには多くの高校生とその保護者の方が来場されました。オープンキャンパス実行委員の皆さんは学部生・大学院生・教員らと協働しながらオープンキャンパスを大盛況に導きました。実行委員長、ならびに

各専攻代表者より、オープンキャンパス当日の様子や感想をお伺いしましたので、ご紹介いたします。



保健学科実行委員長
戸田 薫理

医学部・医学研究科オープンキャンパスでは本学部・研究科を志望する方を主な対象としています。



保健学科では専攻ごとに教育内容や実習体験・および研究内容や大學生生活全般等、幅広く紹介しまし

た。来場された方々が入学後の具
体的なイメージを持つことができ、
本学部の魅力をお伝えできるよう
に実行委員一同尽力しました。



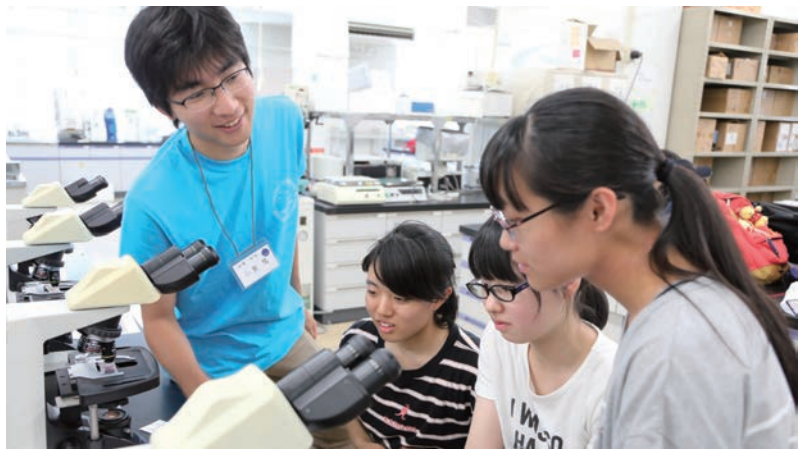
ここで、私の所属している看護
学専攻が行った企画について紹介
したいと思います。看護学専攻で
は、保健学科案内ツアー・先生方
の模擬講義・在校生による入試体
験談や学生生活相談・実習体験コー
ナー・社会でご活躍されている卒
業生の方々の相談会など様々な
企画を行いました。保健学科案内



ツアーは、星陵キャンパス内を解
説しながら歩いて回ります。屋外
ツアーのため、今年は両日ともに
天気が良く非常に暑さが心配でし
たが、熱中症もなく盛況のうち
に終わることができて良かったです。
また、実習体験コーナーでは実際
にシミュレータの人形を用い呼吸
音・心音の聴取や車椅子やストレッ
チャー乗車の体験、バイタルサイ
ン測定などをはじめとした看護技
術の体験を行いました。来場の方
々は初めての看護体験を通して入
学のイメージを抱くことができました
のではないのでしょうか。

今回、各専攻それぞれの企画で
ご盛況いただき、非常に有意義な
2日間になったと思います。来年
度もまたオープンキャンパスを通
して来場の方々に本学の魅力が伝
わることをお祈りしております。

最後になりましたが、学部生、
卒業生、教員、教務係職員の皆様
にオープンキャンパスの運営のた
めにご尽力いただいたことにつ
きまして、この場をお借りして心
より御礼申し上げます。



保健学科実行委員
放射線技術科学専攻代表
工藤 誠



今年の医学部・医学系研究科オ
ープンキャンパスも暑い中にも関わ
らず、全国各地から数多くの方
にご来場いただくことができました。
放射線技術科学専攻では、例年に
引き続き、各種企画を用意し教育・
研究・大学生活等について幅広く
紹介しました。



本専攻企画の目玉である保健学
科案内ツアーでは、通常立ち入り

が制限されている管理区域内に特
別に立ち入ることができ、普段は
見ることができない研究室の中や、
CT・MRI装置等を見学してい
ただき、参加者の皆様にお楽し
みいただけたのではないかと思
います。デモンストレーションコー
ナーでは、サーベイメータを用い
ることにより、目には見えない放
射線の測定や、超音波検査の説
明を演習形式で行いました。相談
コーナー・卒業生と語ろうコー
ナーでは、本専攻の学生に加え
、教員や本学を卒業し診療放射
線技師として働いている方々が
、参加者の方々に対し、受験勉
強や大学卒業後の進路等をそ
れぞれの目線でアドバイスし
ました。模擬講義においては画
像診断学分野の植田琢也教授と
川住祐介教授、医用物理学分野
の北村成史講師から、それぞれの
専門分野についての貴重なご講
演をさせていただきました。

味・関心をもって参加されている
印象を強く受けました、各種企
画が参加者の皆様の参考になっ
ていれば有意義な2日間であつ
たと思います。
最後になりますが、今年も学部
生や大学院生をはじめ、卒業生
、教員、本学職員の皆様にはオ
ープンキャンパス運営のために
多大なご協力をいただきました。
この場をお借りして、深く御礼
申し上げます。

保健学科実行委員
検査技術科学専攻代表
入倉 理子

2019年度医学部・医学系研究
科オープンキャンパスは、7月3
0日、31日の2日間にわたつて
開催されました。うだるよう
な暑さの中、今年度もたくさん
の方にご来場いただきました。た
くさんの学生や教員の方のご協
力により、東北大学医学部の魅
力をお伝えすることができたと
思います。



どの企画においても、熱心に耳
を傾けてくれる方や、積極的に専
門分野についての質問をする方
が多く見受けられました。また今
年は診療放射線技師を題材とし
たドラマの影響もあり、例年よ
りも多くの方が放射線技術・装
置や診療放射線技師という職業
に対して興味を持っていました。

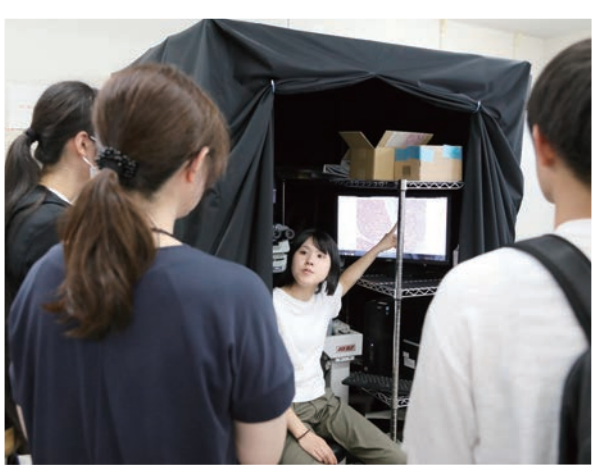


検査技術科学専攻では、展示
コーナー、対談コーナー、模擬
講義、ツアーの4つの企画を
用意しました。模擬講義や展
示コーナーでは、臨床検査技
師とはどういう職業なのか、
国家資格を取るためにどう
いった勉強をしているのかを学
生



自ら来場者の方に説明しました。

実習の苦悩や、自分の好きなの
を学べる楽しさを十分伝えられ
たと思います。対談コーナーでは
、学生に気軽に質問することが
できるので、今抱えている不安
や悩みを解消することができ
ました。また学生だけでなく、
教員や検査専攻のOBの方にも
お越しいただき、それぞれの視
点からアドバイスを聞くこと
ができる機会を設けました。当
日は、検査専攻に興味を持っ
ていただき積極的に



学生に質問をしている方が多く
見られ、非常に嬉しかったです。
また、ツアーは実際に心電図を
とつ

てみたり、血液の標本を見てみたりと本専攻志望の方には意識を高める有意義なものになっていったと思います。このオープンキャンパスを通して、ひとりでも多くの方に本学に興味を持っていただければ幸いです。

最後になりますが、ご協力いただいた学部生、卒業生、教員、教務係の皆様、その他オープンキャンパスの運営のためにご尽力いただいた方々にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

**令和元年度
保健学科同窓会総会
および帰朝報告**

令和元年7月19日(金)、保健学科A棟大講義室にて、令和元年度保健学科同窓会総会が開催されました。昨年度と同様に2部構成からなり、第一部では以下のような議題で議事を進行し、役員及び予算が決定しました。

開会のご挨拶

会長 大森 純子先生
(公衆衛生看護学分野)

保健学科同窓会新役員人事
会長 大森 純子先生
副会長 豊川 幸世
(公衆衛生看護学分野)

幹事
遠藤 美芽
(放射線検査学分野)
西山 真美
(臨床生理検査学分野)
武石 陽子
(ウィメンズヘルス・
周産期看護学分野)

監事
高木 清司
(病理検査学分野)

2018年度決算報告

村崎 晶洋
(東北大学病院)

2019年度予算案

第二部は「帰朝報告」と称し、各専攻から1名ずつ、現在の研究活動や国際学会での発表経験やその様子などについて報告をしていただきました。ここで、3名の方の帰朝報告内容を一部ご紹介させていただきます。

**公衆衛生看護学分野
博士前期課程1年
豊川 幸世**

私は、平成31年度に東北大学の保健学科看護学専攻を卒業後、大学院の公衆衛生看護学分野保健師養成コースに進学し、保健師に必要な知識や技術と研究能力を得るため勉学に励んでおります。今年度の帰朝報告では、昨年度に「TOMODACHI J&J 災害看護研修プログラム」の一環で米国研修に行ってきたので、その内容を発表させていただきます。

米国研修では、東海岸にあるニューヨークやワシントンD.C.の病院や大学、消防署、米軍の施設を訪れました。災害について話を聞



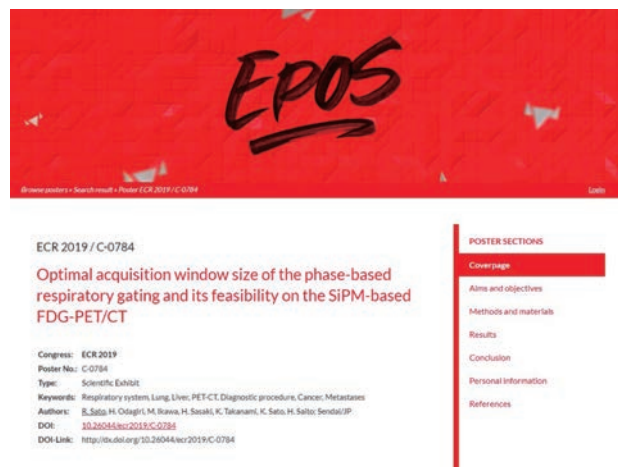
くたびに、災害の恐ろしさやそれに負けない人々の強さを感じました。

私にとって、東日本大震災の経験はつらく、しかし自分が受けた被害が大きくなかったから他人事とすることができ避けてきました。今回のプログラムに参加したことで、今まで避けてきたものと向き合い、前に進むことができました。このプログラムで得た経験や学びを生かし、保健師を目指して精進していきたいです。

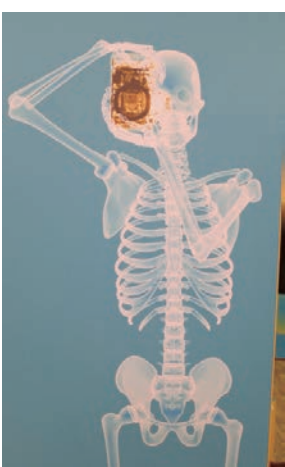


**画像解析学分野
博士前期課程2年
佐藤 涼太郎**

私は平成29年度に保健学科放射線技術科学専攻を卒業後、大学院保健学専攻画像解析学分野に進学し研究を行っております。この度、オーストリアのウィーンにて平成31年2月27日から3月3日にかけて開催された、European Congress of Radiology (ECR) 2019に参加し、研究発表をさせていただきました。



ECRは毎年同じウィーンの会場で開催されています。前年の会期中は強い寒波に当たって大変だったという話を聞いていたので氷点下の世界を覚悟して向かいましたが、幸いなことに今回は気温も丁度良く、日本とあまり変わらないくらいの服装で気楽に過ごすことができました。



私は現在、PET/CT装置を用いて呼吸同期撮像の条件検討に関する研究をしております。その内容について、電子ポスター(EPOS)で発表を行いました。口頭での発表ではないとはいえ初めての英語での発表でしたので、難しいことも多くポスター完成まで苦労しました。しかしその分良い勉強になりました。しかしその分良い勉強になり、貴重な機会をいただいたことを嬉しく思います。また自身の発表以外にも、大掛かりな機器展示や美しい会場のデザインなど呆気にとられることが多く、

大きな国際学会の凄さを感じてまいりました。



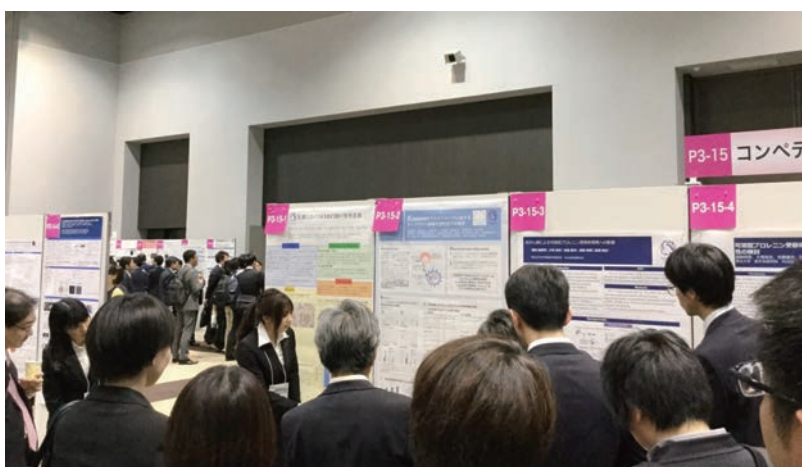
最後に、今回国際学会で発表の機会を与えてくださいました齋藤教授をはじめ、研究室の皆様や研究に協力してくださった東北大学病院の皆様へ感謝申し上げます。

**病理検査学分野
博士前期課程2年
山口 美桜**

私は保健学科卒業後、大学院に進学し、病理検査学分野で乳癌の研究に取り組みさせていただいています。この度、5月9日から11日にかけて仙台国際センターで開催された第92回日本内分泌学会学術総会に参加させていただきましたので、報告いたします。

今年の総会は3300人を超える参加者を迎え、非常に活発な議論が交わされており、様々な新しい知見や考え方を学ばせていただきました。私は乳癌組織随伴マーカーファージにおけるアンドロゲン誘導性液性因子の発現意義につい

て、ポスター発表させていただきました。ポスター発表は初めての経験だったので、短時間でわかりやすく且つ正確に自身の研究の強みや面白さを伝える難しさを痛感しました。コンペティションでは会長賞をいただくことができ、今後の研究に向けた大きなモチベーションとなりました。日頃からご指導くださる先生方や周りの皆様への感謝の気持ちを胸に、今後も精進してまいります。



このような貴重な機会をいただきましたこと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。



看護学専攻三年 押切 友果

今年度は、令和元年7月18日に看護学専攻のウェアセレモニーが行われました。代表を務めました学生さんの決意表明の言葉を紹介いたします。

ウェアセレモニー



10月から始まる領域別の実習に先立ち先日、基礎看護学実習が行われ、初めて入院患者を対象に看護を行うという経験をさせていただきました。私が受け持たせていただいた患者は病気により入院が長期化してしまっている方で、初めは私の緊張が伝わってしまったのか、円滑なコミュニケーションをとることができませんでした。



本日のウェアセレモニーにあたり、14期生を代表して決意表明をいたします。



したが、徐々に打ち解けていき、患者の方から少しずつ、病気のこや、いつ帰れるかわからないことに対する不安などを打ちあけてくれるようになりました。私は語る言葉ひとつひとつに耳を傾け、少しでも不安が取り除かれればと思いつつ言葉をかけました。実



また、今回の基礎実習にあたり改めて看護師を目指したきっかけや、自分の中の看護像について考えさせられました。人の命に直接関わることでできる医療という分野に心惹かれ、その中でも看護師はもっとも患者に近い存在であり、寄り添うことができるのではないかと考えたことが看護師になろうと思つたきっかけでした。そして、

私の目指す看護像は、患者の辛さや苦しさを、喜びや嬉しさなど患者の気持ちを理解することができ、患者の心に寄り添うことができる看護師です。患者の声に耳を傾け、自らの想像力をはたらかせ、患者の思いや価値観を理解、尊重し、ケアを実践できる看護師を目指し、学びを深めていきたいと思つています。これから本格的に領域別の専門看護学実習が始まります。臨床でしか学べないことがたくさんあるということと今回の基礎看護学実習で実感しました。自分の看護像をしっかりと持ちながら、講義や基礎看護学実習で学んだことを活かしてふさわしい態度や考え方を、そ



して、患者の入院生活を援助できるように技術を身につけていきたいと思つています。

訂正のお詫び

前回の東北大学医学部保健学科同窓会新聞(平成30年度第2号)に掲載した「人事異動」に左記の誤りがございました。謹んでお詫び申し上げます。ここに訂正いたします。

誤*ウイメンズヘルス看護学分野
准教授 小山田 信子 先生
退職(平成31年3月)

正*ウイメンズヘルス・周産期看護学分野
准教授 小山田 信子 先生
退職(平成31年3月)

誤*ウイメンズヘルス看護学分野
講師 佐藤 眞理 先生
退職(平成31年3月)

正*ウイメンズヘルス・周産期看護学分野
講師 佐藤 眞理 先生
退職(平成31年3月)

参考:LIFE HACKチャンネル/自衛官募集チャンネル



第21号も皆様のご協力のもと、無事に発行することができました。お忙しい中寄稿してくださった先生方、学生の皆様、そして写真提供にご協力くださった一条様はじめ医学部広報室の皆様により感謝いたします。

編集後記

講師 佐藤 眞理 先生
退職(平成31年3月)

看護学分野

さて編集後記というのは何を書けばいいのでしょうか。こんなところまで目を通してくださっている暇な貴方に、私からちよつとした有意義な情報を発信します。この寒い時期にカイロは手放せませんが、使用済みのカイロはどうしていますか?捨ててしまうなんて勿体ありません。使用済みカイロは実は防臭剤としてリユースできるので。カイロの本身は活性炭ですが、活性炭には強力な消臭・浄水効果がありペットのトイレの消臭マットや浄水器のカートリッジにも使用されています。そのため例えばにおいがこもりがちブーツ、玄関、あるいは冷蔵庫に入れば防臭剤として使用することができます。なんて有意義な情報でしょう。たまには編集後記も読んでみるのもですね。それでは寒い季節ですが風邪をひかないようにお体に気を付けてお過ごしください。

医学系研究科保健学専攻博士前期課程1年
西山真美

参考:LIFE HACKチャンネル/自衛官募集チャンネル